

目 次

若狭湾西部におけるアカアマダイ浮遊期仔稚魚の出現・分布 井関智明・上原伸二・八木佑太（資源管理部 沿岸資源グループ）	3
日本海沖合域におけるズワイガニ属メガロパ期幼生の分布特性 本多直人（資源環境部 海洋動態グループ）	7
シオミズツボウムシ（S型）の閉鎖循環式連続培養法の開発 手塚信弘（資源生産部 初期餌料グループ） 森田哲男（瀬戸内海区水産研究所 増養殖部 閉鎖循環システムグループ）	11

表紙の解説

着底前のアカアマダイ浮遊期稚魚（飼育個体，全長15mm，日齢40日）

アカアマダイはふ化後40～50日程度の浮遊期を経た後，主として水深60～100mの海底に着底し，まもなく巣穴生活を開始する。この浮遊期間中の生き残りは資源変動に大きな影響を与える。日本海区水産研究所では若狭湾西部をモデル海域として，仔稚魚期を対象とした生態調査と漁獲データの解析等により仔稚魚から親魚までの分布，移動，加入特性などを把握し，資源診断の基礎資料とするための研究を行っている。